

平成26年度 第三者評価 評価結果

種 別	認定こども園
事業所名称	青葉学園野沢こども園
評価機関名称	株式会社 学研データサービス
評価実施期間	2014年8月12日～2015年3月16日

全体の評価講評

特に良いと思う点

外部講師による英会話や体育など、充実した教育・保育内容を展開しています

当園では、3～5歳児を対象に専任の講師による「英会話」と「体育」の指導を取り入れています。また、具体的な体験を積み重ねていく中で、生きる力のベースとなるよう「感性教育」に重点を置いた指導も行っています。「英会話」では、3学期には英語で表現遊びができるよう、「体育」では鉄棒、縄跳び、マット運動など、日ごろの成果を運動会の種目へとつなげています。5歳児は運動会で組体操を披露するために、さらに練習を重ねていきます。このほか、造形、音楽、表現など、さまざまな活動を取り入れ、充実した教育と保育を提供しています。

当園の子育て支援活動には、参加者から高い評価を受けています

園は地域の子育て中の親子の支援にも力を入れて取り組んでいます。2歳児から就学前までの子どもを対象に親子登園「ペンギンクラス」を月2、3回開催し、15組の親子を受け入れています。また0～1歳児の親子を対象に子育て井戸端会議「めだかクラス」を月1回、10組の親子を受け入れています。こうした子育て支援事業に対する地域の評価は高く、今回の子育て支援の利用者調査では、もっとやってほしい、なかなか予約が取れないという意見が出ています。子育て相談についても、とても役立っているという意見が多く、全員が満足という結果です。

小学校との連携を深め、就学に向けたさまざまな取組を行っています

子どもの就学を迎える保護者の不安や心配を払拭するために、9月の保護者会には小学校の校長からどんな準備をしておいた方がいいか説明を受けています。12月には学年主任から小学校1年生の授業内容や学校での生活について説明を受けています。また小学校の運動会や発表会、学芸会のときには招待を受けて、子どもたちが小学校にうかがっていますし、小学1年生との交流会を開き、5歳児と遊ぶ機会を設けています。こうした取組が小学校に順応するきっかけになっています。

さらなる改善が望まれる点

職員のやる気と働きがいの向上を図るための人事考課制度を導入されてはいかがでしょうか

職員の能力向上に関する希望や日ごろの担当業務についての思いなどは、園長が職員と面談し、面談シートで把握しています。この面談シートが職員の職場での個人記録です。成果を上げた職員には面談の際に称賛の言葉をかけています。しかし、昇格や昇給などの人事考課については、当園の場合は保育機能と教育機能の両機能を提供していますので、人事考課の基準が難しい状況です。しかしながら、今後、職員のやる気と働きがいの向上を図るため、人事考課制度を導入されることを望みます。

職員間の情報共有を十分にすることで、どの職員も同じ気持ちで業務に向かえるような体制作りを期待します

今回の職員アンケートの自由意見では、職員間の意思統一ができていないため、途中で計画の変更があったりして、やりにくいという意見が出ていました。保育はチームワークの仕事ですので、だれもが連携して仕事に取り組むことが大切です。そのためには事前に十分話し合うことが必要ですし、リーダーシップをとる職員の存在も重要です。今後は、職員間で情報共有を十分にすることで、どの職員も同じ気持ちで業務に向かえるような体制作りを期待します。

外部の苦情相談窓口の保護者へのさらなる周知を図られることを望みます

園の苦情解決制度については、玄関にご意見箱を設置し、文書「ご相談、ご意見受付窓口設置について」を掲示して、保護者からの苦情や要望を受け付けていることを表明しています。また、「入園のしおり」にも明記し、入園説明会では口頭で説明しています。しかしながら、今回の利用者調査では、外部の苦情窓口についての保護者の認知度は低いようです。また、不満や要望をこども園に対しては言いにくいという保護者が多くいますので、さらに工夫をすることで外部の苦情窓口についての認知度を高めることを望みます。

事業者が特に力を入れている取り組み

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	カテゴリー6	子どもの発達や状況に応じた指導計画を作成している
タイトル①	年間、月間などの指導計画は、教育・保育課程と整合性を取りながら作成しています	
内容①	幼稚園機能と保育園機能を合わせもった教育・保育課程は、「こども園」の方向性を定める上で重要な計画です。この教育・保育課程は、数年前に園長が中心となり作成しました。理念からはじまり、社会的責任や人権尊重など園としてのミッションを表明し、合わせて養護と教育（5領域）が各年齢ごとに整合性がとられて作成されています。現在、教育・保育課程との整合性を考えて各指導計画（年間、月間、週日案）を作成するように工夫しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	カテゴリー6	幼稚園と保育園の機能が一体的に提供されている
タイトル②	保護者の就労の有無や形態にかかわらず、子どもの教育・保育が一体的に行われています	
内容②	当園では、幼稚園機能と保育園機能の子どもを区別することなく、学年に応じた同一の教育・保育を提供しています。3～5歳児は学年を2クラスに編成して、教育・保育課程をはじめ、指導計画や日誌などもクラス単位で作成しています。幼稚園機能の子どもたちが降園した午後は、学年合同で過ごします。その時間帯は幼稚園機能の「預かり保育」を利用する子どもたちもいっしょです。双方の保護者間の交流も行われており、今回の利用者調査でも、一体的な教育・保育を行うこども園に対して、保護者から好意的な意見が多数寄せられています。	